

海外経済展望

2010年5月



調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/thinktank/research/>

【目 次】

米国	I － (1 ～ 7)
欧州	II － (1 ～ 7)
原油価格	III

◆本資料は2010年5月5日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

◆本資料に関するご照会は、下記あてお願いいたします。

欧米経済・市場動向グループ

米国経済	: 村瀬 (Tel : 03-3288-4085	Mail : murase.takuto@jri.co.jp)
金利	: 下田 (Tel : 03-3288-4527	Mail : shimoda.yusuke@jri.co.jp)
欧州経済・金利・原油動向	: 熊谷 (Tel : 03-3288-4665	Mail : kumagai.shotaro@jri.co.jp)

米国経済概説 (2010年 5 月)

1. 米国経済の現状：多くの部門で持ち直しの動き

足許の米国経済は、雇用者数が増勢に転じたほか、企業の生産活動の拡大が続くなど、多くの部門で持ち直しの動き。

2. トピックス

①個人消費

3月の小売売上高は6ヵ月連続の増加。自動車など耐久財が売上増を牽引。

個人消費が底堅く推移している背景として、雇用環境が最悪期を脱したことや株価の上昇により、消費マインドが持ち直していることを指摘可能。可処分所得のうち消費に支出した金額の割合を示す消費性向は、足許で08年秋の水準まで持ち直し。

もっとも、家計の所得環境は、名目時間当たり賃金の伸びが足許で大きく鈍化するなど、依然として厳しさが持続。時間当たり賃金の伸び率に対して6ヵ月程度先行する失業率が高止まりするなか、賃金への下押し圧力は当面続く公算。

さらに、家計の負債は減少が続いているものの、可処分所得対比でみてなお歴史的な高水準にあり、さらなる負債圧縮が不可欠な状況。このため、消費性向の上昇による消費拡大には限界。

以上を踏まえれば、個人消費の増勢加速は期待薄。

②住宅・商業用不動産

住宅市場では、3月の販売件数が新築、中古ともに大きく増加。もっとも、連邦政府による住宅購入支援策の打ち切りを4月末に控え、駆け込み需要が販売を押し上げている側面が強く、5月以降、反動減が生じる恐れ。

一方、住宅の差し押さえ件数は3月に再び増加し、05年以降で最大に。中古住宅在庫も2ヵ月連続で増加しており、住宅市場の持続的な需給改善は当面見込み難い状況。

商業用不動産市場では、金融機関による商業用不動産向け貸出残高の減少ペースが加速。商業用不動産価格も、持続的な上昇には至っていない状況。

全米不動産協会によると、少なくとも10年末までは、オフィス、小売施設ともに空室率の上昇、高止まりが続くと見込まれており、商業用不動産市場の改善にはなお時間を要する公算。

③FED WATCH

FEDは4月28日のFOMCで前回同様、ゼロ金利政策の維持を決定。MBS・エージェンシー債の買い入れによる金融緩和策は、延長・拡大はせず3月末に終了したほか、その他の流動性供給についても当初の予定通り終了へ。

声明では、緩やかながらも経済は回復する可能性が高いと示唆。もっとも、企業の構築物投資は依然として縮小が続いており、失業率も高止まりしていることから、景気の先行きに対して慎重な見方を崩さず。

物価については、抑制された状態が当面続くとの見方。コアPCEデフレーターは低い伸びが続いており、過去の利上げ局面でみられた上昇基調には至らず。

声明文にある「インフレ抑制トレンドなどの経済状況が長期にわたって異例な低金利を正当化する」という、いわゆる「時間軸効果」については、今回も削除されておらず。市場では「利上げは時期尚早」との見方がなお大勢。

3. 景気・金利見通し

<景気見通し：二番底リスクは後退も、年後半にかけて成長率鈍化>

米国経済は、雇用者数の増加や企業収益の回復などを受け、二番底リスクは後退。もっとも、①弱さが続く所得環境、②道半ばにある家計のバランスシート調整、③商業用不動産をはじめとする構築物投資の低迷、などが重石となり、本格回復には至らない見通し。こうした状況下、本年央から後半にかけては政策効果の反動が徐々に顕在化する公算。

政府は11月の中間選挙を控え、追加景気対策を策定。もっとも、対策の規模はGDP比1%程度と、昨年2月より実施されている現対策と比べて小さく、景気押し上げ効果は限られる見込み。

<金利見通し：長期金利は上昇圧力増大の懸念>

FEDは2月18日に公定歩合を引き上げたほか、3月31日にはMBSおよびエージェンシー債買い入れを終了するなど、金融危機に対する異例の措置を徐々に縮小。もっとも、経済活動全般に対して慎重な見通しを崩しておらず、超低金利政策は当面継続する見通し。

長期金利は、大規模な景気対策に伴う財政悪化懸念やドル安などを背景に、上昇圧力が次第に強まっていく見通し。

10年1～3月期実質GDP成長率は+3.2%と、3四半期連続のプラス成長。

<2010年1～3月期GDP速報>

4月30日発表の2010年1～3月期実質GDP成長率（速報値）は前期比年率+3.2%と、3四半期連続のプラス成長。州政府や地方自治体の歳出削減を受け、政府支出が2四半期連続の減少となる一方、個人消費を中心とした民間内需が成長率の押し上げに寄与。

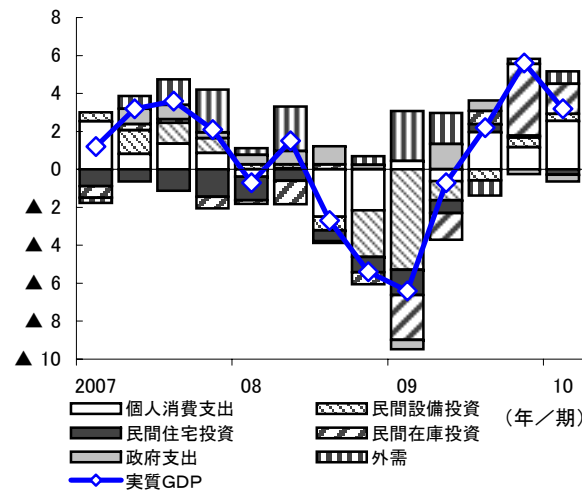
<雇用環境>

3月の非農業部門雇用者数は、前月差+16.2万人と07年3月以来の増加幅。内訳をみると、国勢調査に伴う臨時雇用により連邦政府が同+4.8万人の増加となったほか、製造業や建設業でも減少に歯止め。

<生産>

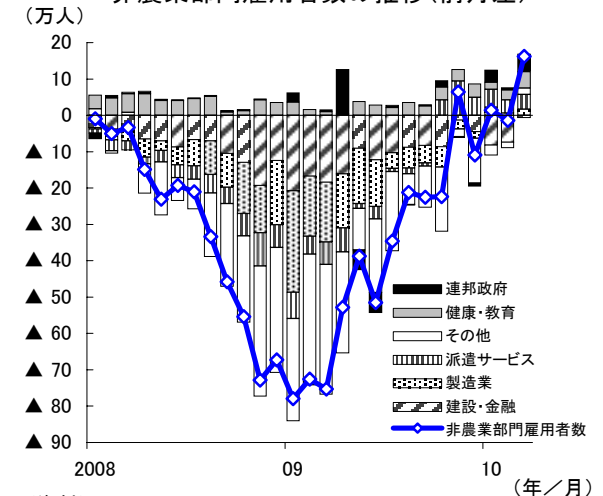
企業の生産活動は、鉱工業生産指数が9ヵ月連続で上昇するなど、持ち直しの動きが持続。在庫調整一巡により、企業が在庫の積み増しを進めていることが背景。在庫循環図をみても、足許で「回復局面」から「積み増し局面」に差し掛かりつつあることが確認可能。製造業の新規受注も増加傾向が続いている点を踏まえれば、企業の生産活動は当面底堅い推移が続く見込み。

(%) 米国実質GDP成長率の推移(前期比年率)



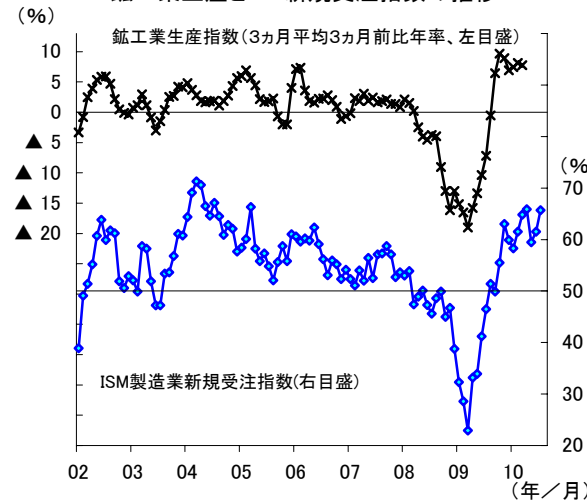
(資料) Bureau of Economic Analysis

非農業部門雇用者数の推移(前月差)



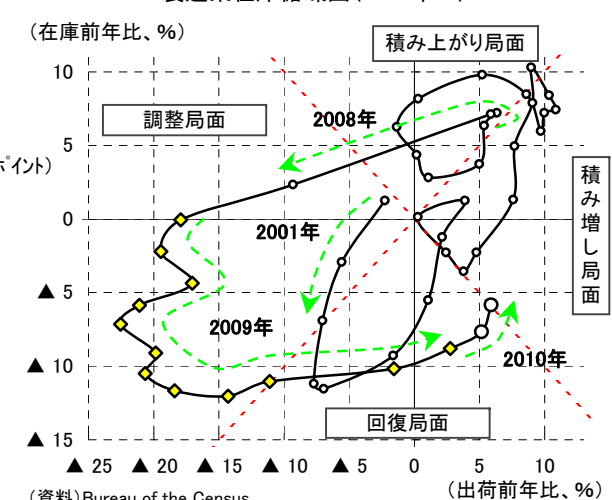
(資料) Bureau of Labor Statistics

鉱工業生産とISM新規受注指数の推移



(資料) ISM、FRB

製造業在庫循環図(2001年～)



(資料) Bureau of the Census

(注) 2008年までは四半期表示。2009年以降は月次表示。

機械・IT関連投資に持ち直しがみられる一方、建設投資は大幅な減少が持続。

<輸出>

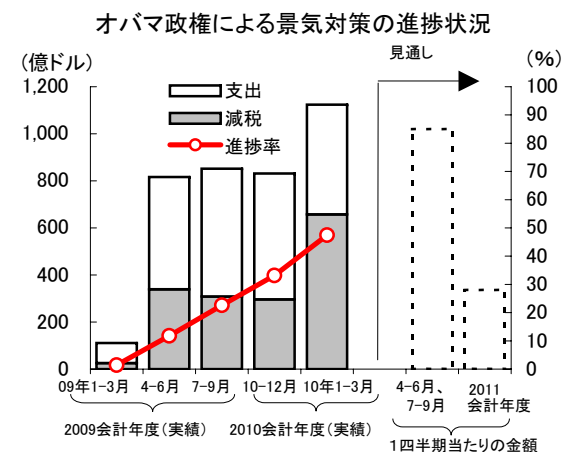
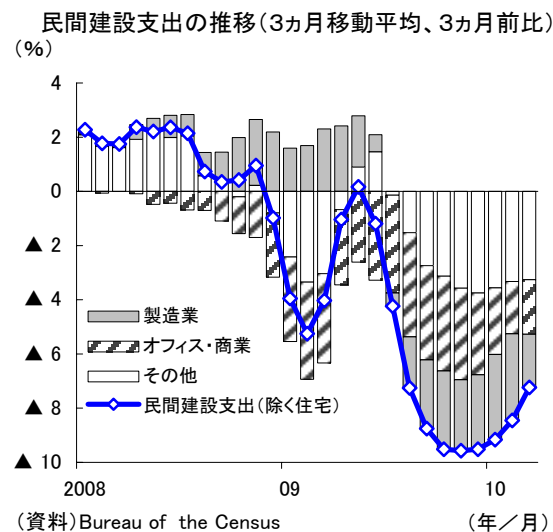
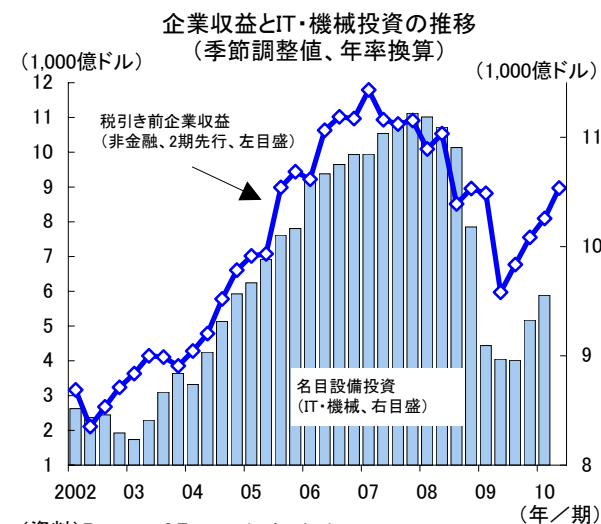
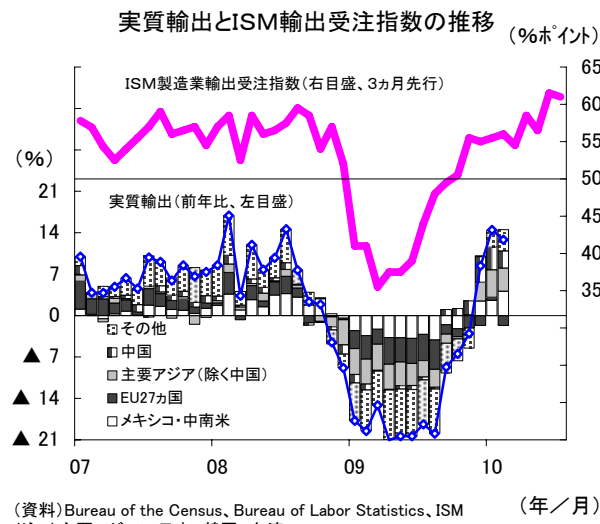
実質輸出は、中国などのアジア向けや中南米向けを牽引役に増加傾向が持続。実際の輸出動向に対して先行性を有するISM輸出受注指数も、増加と減少の分かれ目となる「50」を大きく上回る状況が続いており、実質輸出は当面堅調な伸びが続く公算。

<設備投資>

企業収益や稼働率の回復を受け、機械やIT関連の設備投資に持ち直しの動き。もっとも、建設投資に関しては、依然として大幅な減少が持続。

<政策関連>

オバマ政権が昨年2月に策定した総額7,870億ドルの景気対策は、本年3月末時点ですでに5割が支出済み。今後は、追加の景気刺激策を打ち出さない限り、1四半期当たりの支出額が減少に転じるとみられることから、景気対策による押し上げ効果は徐々に減衰していく見込み。



足許の個人消費は底堅いものの、増勢加速は期待薄。

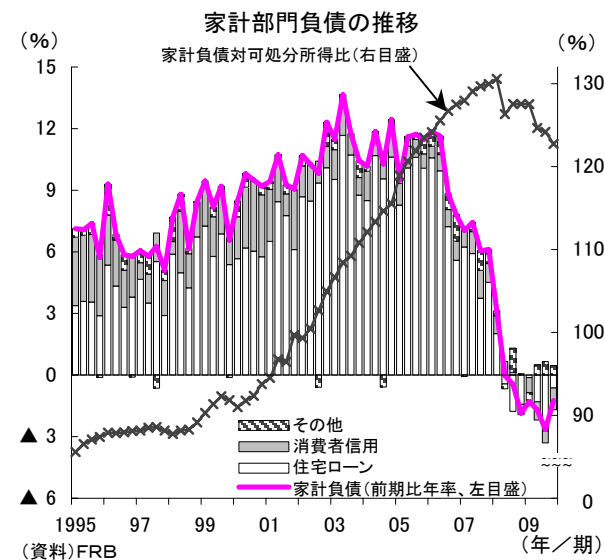
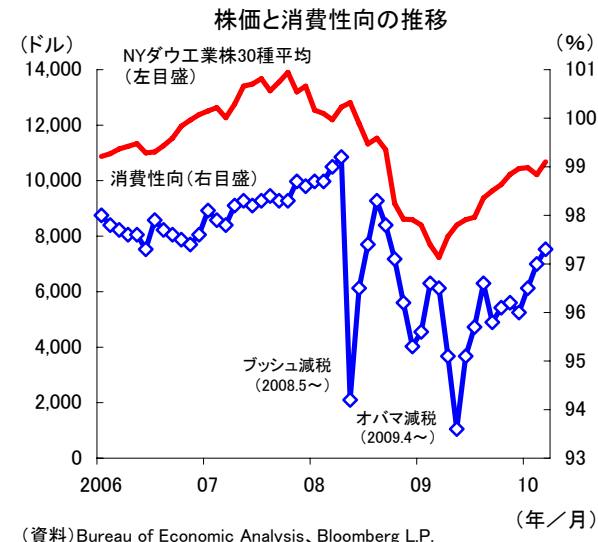
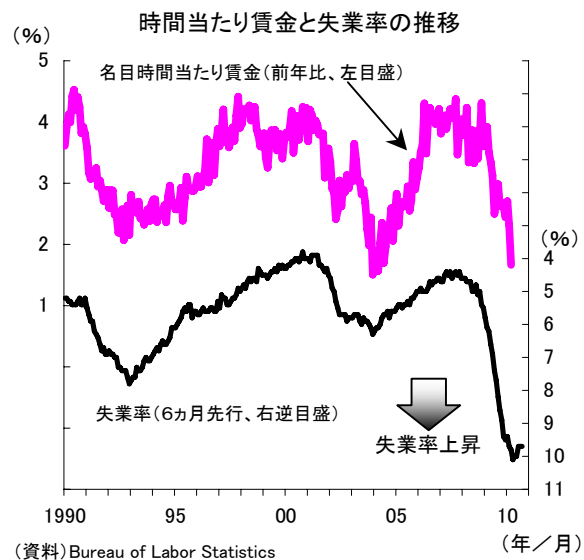
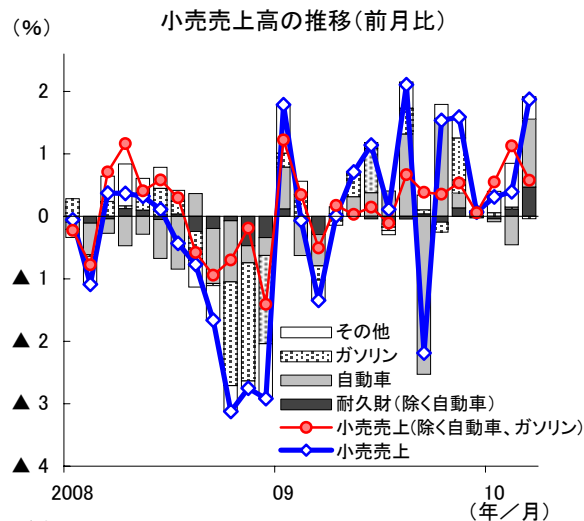
3月の小売売上高は前月比+1.9%と、6ヵ月連続で増加。自動車など耐久財が売上増を牽引。

個人消費が底堅く推移している背景として、雇用環境が最悪期を脱したことや株価の上昇により、消費マインドが持ち直していることを指摘可能。可処分所得のうち消費に支出した金額の割合を示す消費性向は、足許で08年秋の水準まで持ち直し。

もっとも、家計の所得環境は、名目時間当たり賃金の伸びが足許で大きく鈍化するなど、依然として厳しさが持続。時間当たり賃金の伸び率に対して6ヵ月程度先行する失業率が高止まりするなか、賃金への下押し圧力は当面続く公算。

さらに、家計の負債は減少が続いているものの、可処分所得対比でみてなお歴史的高水準にあり、さらなる負債圧縮が不可欠な状況。このため、消費性向の上昇による消費拡大には限界。

以上を踏まえれば、個人消費の増勢加速は期待薄。



住宅・商業用不動産市場の改善にはなお時間を要する公算。

＜住宅部門＞

3月の住宅販売件数は、新築、中古ともに大きく増加（新築：前月比+26.9% 中古：同+6.8%）。もっとも、連邦政府による住宅購入支援策の打ち切りを4月末に控え、駆け込み需要が販売を押し上げている側面が強く、5月以降、反動減が生じる恐れ。

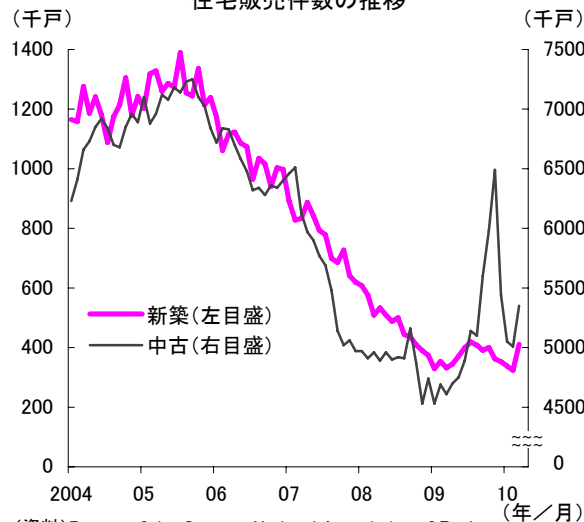
一方、3月の住宅差し押さえ件数は、36.7万件と再び増加し、05年以降で最大に。中古住宅在庫も2ヵ月連続で増加しており、住宅市場の持続的な需給改善は当面見込み難い状況。

＜商業用不動産＞

金融機関による商業用不動産向け貸出残高は、減少ペースが加速。2月の商業用不動産価格も、前月比▲2.6%と4ヵ月ぶりに下落しており、持続的な価格上昇には至っていない状況。

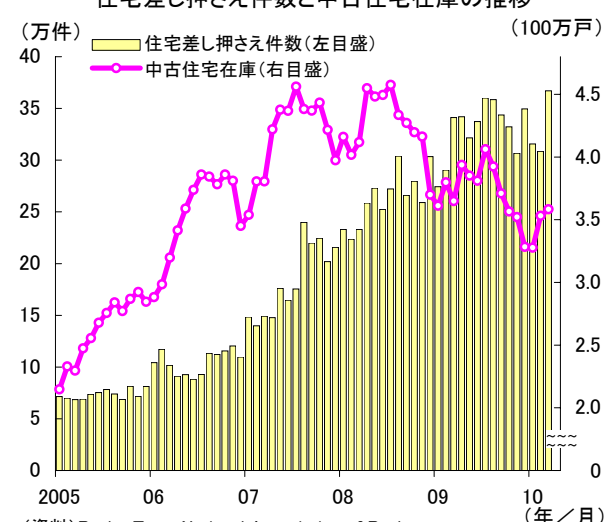
全米不動産協会によると、少なくとも10年末までは、オフィス、小売施設ともに空室率の上昇、高止まりが続くと見込まれており、商業用不動産市場の改善にはなお時間を要する公算。

住宅販売件数の推移



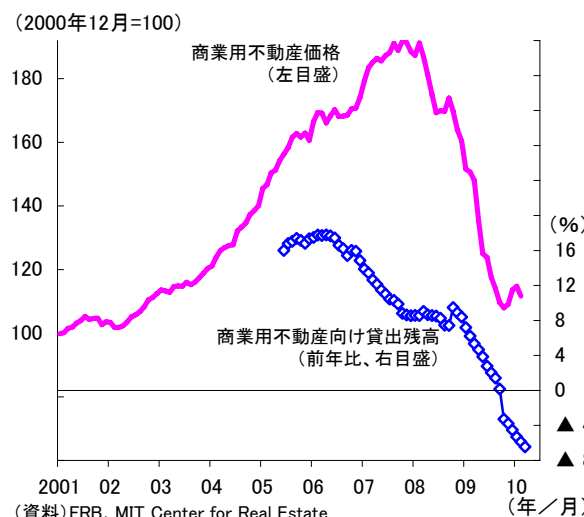
(資料)Bureau of the Census、National Association of Realtors

住宅差し押さえ件数と中古住宅在庫の推移



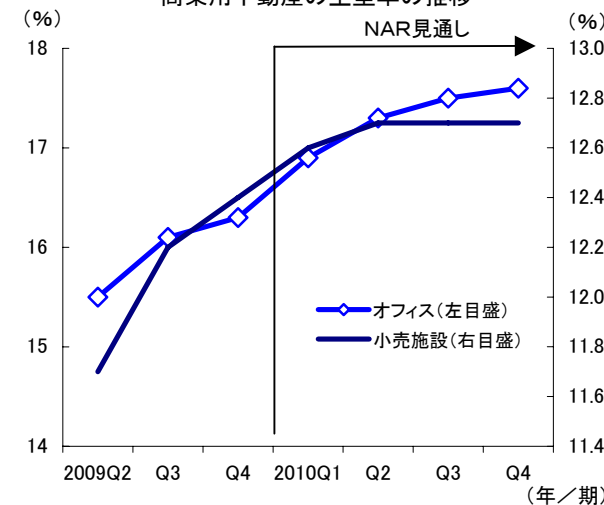
(資料)Realty Trac、National Association of Realtors

商業用不動産価格と貸出残高の推移



(資料)FRB、MIT Center for Real Estate

商業用不動産の空室率の推移



(資料)National Association of Realtors

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年5月

二番底リスクは後退するも、年後半にかけて成長率は鈍化する見通し。

<景気見通し>

米国経済は、雇用者数の増加や企業収益の回復などを受け、二番底リスクは後退。もっとも、①弱さが続く所得環境、②道半ばにある家計のバランスシート調整、③商業用不動産をはじめとする構築物投資の低迷、などが重石となり、本格回復には至らない見通し。こうした状況下、本年央から後半にかけては政策効果の反動が徐々に顕在化する公算。

政府は11月の中間選挙を控え、追加景気対策を策定。もっとも、対策の規模はGDP比1%程度と、昨年2月より実施されている現対策と比べて小さく、景気押し上げ効果は限られる見込み。

<金利見通し>

FEDは2月18日に公定歩合を引き上げたほか、3月31日にはMBSおよびエージェンシー債買い入れを終了するなど、金融危機に対する異例の措置を徐々に縮小。もっとも、経済活動全般に対して慎重な見通しを崩しておらず、超低金利政策は当面継続する見通し。

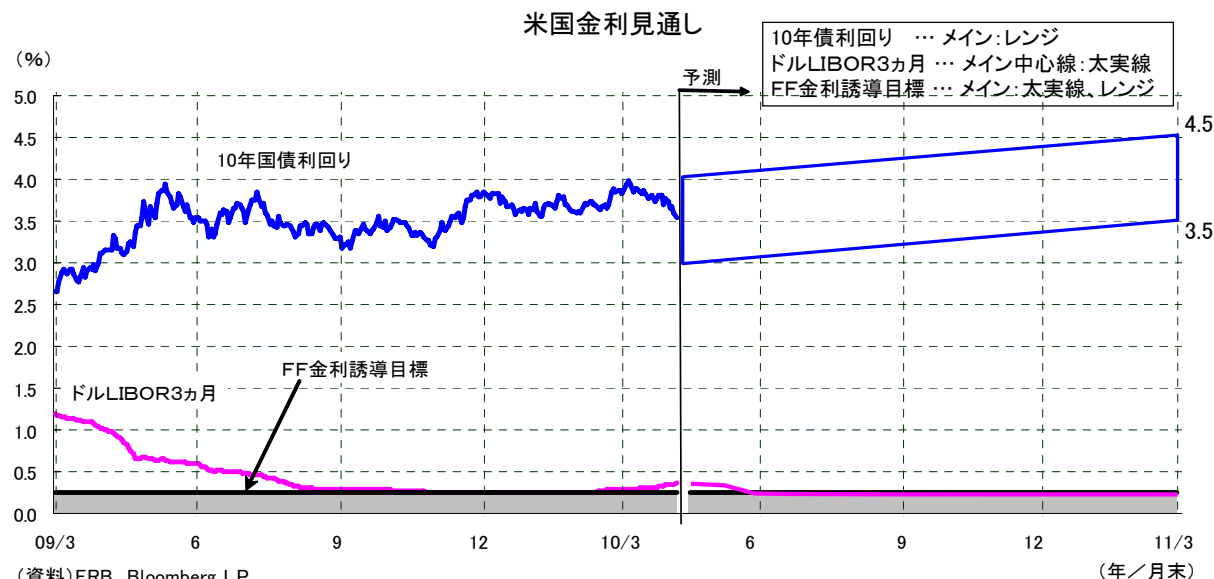
長期金利は、大規模な景気対策に伴う財政悪化懸念やドル安などを背景に、上昇圧力が次第に強まっていく見通し。

米国経済成長・物価見通し

	2009年					2010年					2011年
	1～3	4～6	7～9	10～12	(実績)	1～3	4～6	7～9	10～12	(予測)	1～3
実質GDP	▲ 6.4	▲ 0.7	2.2	5.6	▲ 2.4	3.2	1.8	1.1	1.3	2.6	1.7
個人消費	0.6	▲ 0.9	2.8	1.6	▲ 0.6	3.6	2.0	1.3	1.7	2.1	1.9
住宅投資	▲ 38.2	▲ 23.3	18.9	3.8	▲ 20.5	▲ 10.9	▲ 4.5	▲ 1.8	0.1	▲ 2.7	1.3
設備投資	▲ 39.2	▲ 9.6	▲ 5.9	5.3	▲ 17.8	4.1	2.1	1.2	1.1	1.2	1.2
在庫投資	▲ 2.4	▲ 1.4	0.7	3.8	▲ 0.7	1.6	0.3	0.0	0.1	1.1	0.1
政府支出	▲ 2.6	6.7	2.6	▲ 1.3	1.8	▲ 1.8	1.2	0.8	▲ 0.5	0.3	1.0
純輸出	2.6	1.7	▲ 0.8	0.3	1.1	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 0.0	0.0	▲ 0.1	▲ 0.1
輸出	▲ 29.9	▲ 4.1	17.8	22.8	▲ 9.6	5.8	5.4	5.1	4.8	9.3	4.3
輸入	▲ 36.4	▲ 14.7	21.3	15.8	▲ 13.9	8.9	5.7	4.2	3.7	8.4	3.9
実質最終需要	▲ 4.1	0.7	1.5	1.7	▲ 1.7	1.6	1.6	1.1	1.2	1.5	1.6
消費者物価	▲ 0.0	▲ 1.2	▲ 1.6	1.4	▲ 0.4	2.4	1.8	1.4	1.2	1.7	1.1
除く食料・エネルギー	1.7	1.8	1.5	1.7	1.7	1.3	1.1	1.0	1.0	1.1	1.0

(資料) Bureau of Economic Analysis, Bureau of Labor Statistics

(注) 在庫投資、純輸出の年間値は前年比寄与度、四半期値は前期比年率寄与度。消費者物価は前年(同期)比。



(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年5月

景気判断を上方修正。「時間軸効果」の文言は削除されず低金利が続く見通し。

FEDは4月28日のFOMCで前回同様、ゼロ金利政策（FFレート誘導目標を0.00～0.25%のレンジに設定）の維持を決定。MBS・エージェンシー債の買い入れによる金融緩和策を3月末に終了したほか、その他の流動性供給についても当初の予定通り終了へ。

声明では、労働市場の改善やソフトウェアをはじめとした設備投資の増加などを背景に、緩やかながらも経済は回復する可能性が高いと示唆。もっとも、企業の構築物投資は依然として縮小が続いており、失業率も高止まりしていることから、景気の先行きに対して慎重な見方を崩さず。

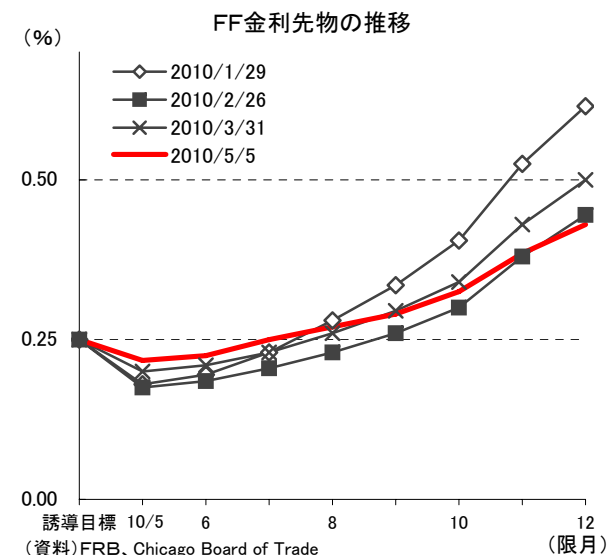
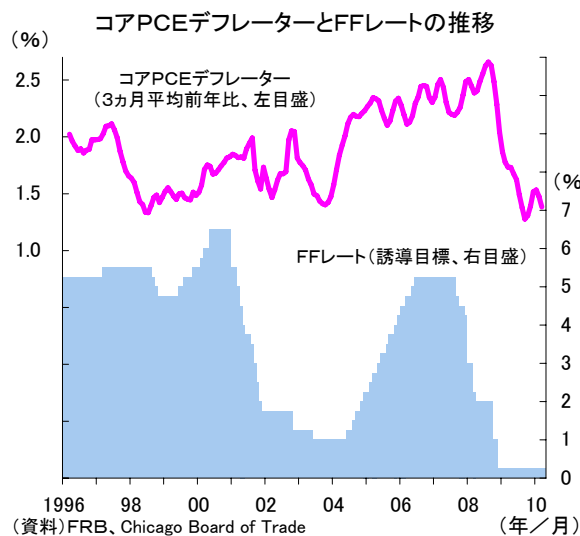
物価については、抑制された状態が当面続くとの見方。3月のコアPCEデフレーターは前年比+1.3%と、低い伸びが続いており、過去の利上げ局面でみられたコアPCEデフレーターの上昇基調には至らず。

声明文にある「インフレ抑制トレンドなどの経済状況が長期にわたって異例な低金利を正当化する」という、いわゆる「時間軸効果」については、ホーニング・カンザスシティ連銀総裁がこれまで3回連続で反対票を投じているものの、今回も削除されておらず。市場では「利上げは時期尚早」との見方がなお大勢。

FOMC声明(要旨)

前回(3月16日)		今回(4月28日)
・0～0.25%のレンジ(据え置き) ・経済状況が長期にわたって異例な低金利を正当化する可能性が高いと引き続き想定(時間軸効果)	FFレート (誘導目標)	・0～0.25%のレンジ(据え置き) ・経済状況が長期にわたって異例な低金利を正当化する可能性が高いと引き続き想定(時間軸効果)
経済活動は引き続き強くなっており、労働市場は安定化しつつあるとみられる。家計支出は緩やかなペースで拡大しつつも、高い失業率や所得の伸び悩み、住宅資産の減少などによって依然として抑制。企業の設備投資はソフトウェアは著しく持ち直したものの、非居住用建造物は縮小が持続。住宅着工は抑制された水準で横ばい。雇用の拡大には依然消極的。銀行融資は縮小が続くものの、市場は引き続き経済成長を支援する状況。当面、経済の回復ペースは緩やかになる可能性が高いものの徐々に復帰へ。	景気判断	経済活動は引き続き強くなっており、 労働市場の改善が始まった。家計支出の伸びは最近高まったものの 、高い失業率や住宅資産の減少などによって依然として抑制。 企業の設備投資はソフトウェアは著しく増加したものの 、非居住用建造物は縮小が持続。雇用の拡大には依然消極的。 住宅着工はわずかに上向いたが 、依然として抑制された水準。銀行融資は縮小が続くものの、市場は引き続き経済成長を支援する状況。当面、経済の回復ペースは緩やかになる可能性が高いものの徐々に復帰へ。
長期的なインフレ期待は安定しており、当面、抑制された状態が続くと予想。	インフレ認識	長期的なインフレ期待は安定しており、当面、抑制された状態が続くと予想。
・TSLFに基づく新規発行の商業用不動産ローン担保証券を裏付けとするローンは、当初の予定通り6月末に終了 ・その他の流動性供給プログラムは当初の予定通り3月末までに終了 →景気回復と物価安定を促進するため、必要に応じて政策手段を導入する意向	非伝統的 金融政策	・TSLFに基づく新規発行の商業用不動産ローン担保証券を裏付けとするローンは、当初の予定通り6月末に終了 ・その他の流動性供給プログラムは当初予定通り終了済 →景気回復と物価安定を促進するため、必要に応じて政策手段を導入する意向

(資料)FRBを基に日本総研作成



(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年5月

欧州経済概説（2010年5月）

1. ユーロ圏景気の現状と展望

【景気の現状】

2010年2月のユーロ圏鉱工業生産は前月比+0.9%と9ヵ月連続のプラス。もっとも、生産に先行する新規受注は頭打ちの様相。ドイツ輸出を地域別にみると、ユーロ域外向けは持ち直しが続く一方、財政赤字問題を抱える南欧向けを中心にユーロ域内向けは低迷が持続。企業の設備投資に対する慎重スタンスも続いており、建設工事出来高は減少傾向が持続。

＜ギリシャ問題＞

3月末のEU・IMFによるギリシャ支援合意後も、ギリシャの信用不安は継続。ギリシャ政府は4月23日、EU・IMFに資金支援を要請。各国議会の動向が不透明ななか、5月19日の90億ユーロの大量償還を無事に乗り切れるかは依然不透明。一方、支援策実施により借換に成功したとしても、問題の一時的な先送りに過ぎない公算大。また、混乱は、ギリシャと同様に財政赤字比率が高いポルトガル・スペインへ波及し始めており、問題は一段と深刻の度を増しつつある。

【景気の見通し】

ユーロ圏景気は、①雇用情勢の悪化を背景とする個人消費低迷、②内需の落ち込みによる設備投資の減少などが、景気の下押し圧力として作用し続けるため、持続的な回復は期待薄。こうした状況下、①景気対策効果が剥落すること、②ギリシャなど南欧諸国での大幅な財政赤字削減、などを背景に、成長率は再びマイナス基調に逆戻りする可能性大。

インフレ率は、コアベースの伸び鈍化が続くため、エネルギー価格反発の影響が薄らぐ2010年末にかけて、ゼロ%近辺まで伸びが鈍化していく見通し。

2. ユーロ圏金利見通し

【金融政策・長期金利】

ECBは、緊急措置としての流動性供給は、段階的に解除していくものの、現行の政策金利水準は当面継続する見通し。

独10年国債利回りは、当面景気低迷やデフレ懸念が金利低下に作用する一方、景気刺激策や税収減に伴う財政赤字拡大が上昇圧力として作用するため、当面横ばい圏で推移する見通し。

3. 英国景気の現状と展望

【景気の現状】

2010年1～3月期の英国実質GDPは前期比+0.2%と、2四半期連続のプラス。業種別にみると、輸出増加を受け、製造業は09年央からの改善傾向が持続。非製造業は金融業などで持ち直しが続いているものの、年明け以降、ホテル・レストランなどは悪化に転換。

＜アイスランド火山噴火＞

アイスランドの火山噴火を受け、欧州各国は4月中旬から下旬にかけて飛行禁止措置を発令。とりわけ、全面的な飛行禁止が長期間続いた英国では、物流・観光などの経済活動が大きく落ち込んだ公算。

【景気の見通し】

英国景気は、①家計のバランスシート調整・雇用悪化を背景とした個人消費の低迷、②主力産業である金融業の低迷、③内需の落ち込みによる設備投資の減少が引き続き足枷。こうしたなか、景気対策効果が剥落する4～6月期は再びマイナス成長となる見通し。

インフレ率は、減税終了やボンド安を受け、本年初に小幅強含んだものの、その後は景気悪化が続くなか、再び鈍化傾向となる見込み。

4. 英国金利見通し

【金融政策・長期金利】

BOEは、英国景気の低迷が持続していることから、現行の政策金利水準を当面継続する見通し。

英10年債利回りは、景気低迷が金利低下に作用するものの、景気刺激策などに伴う財政の大幅な悪化を主因に、上昇圧力が強まる見通し。

ユーロ圏経済：持ち直しが続いているものの、先行き楽観できず。

ユーロ圏景気は企業部門では持ち直しが続いているものの、先行き楽観できない状況。

<企業部門>

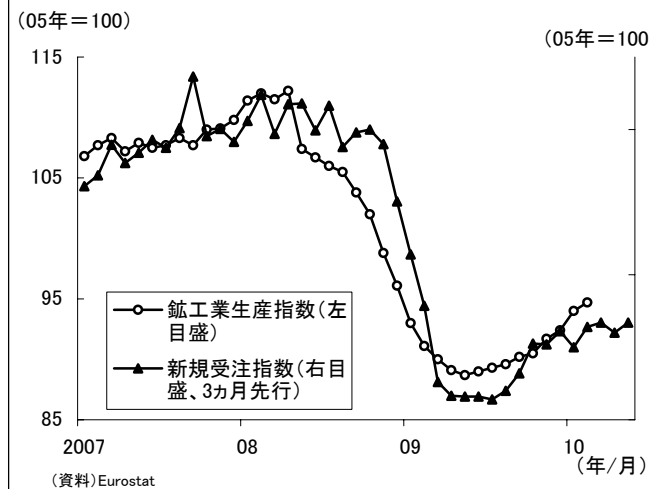
2010年2月のユーロ圏鉱工業生産は前月比+0.9%と9ヵ月連続のプラス。もっとも、生産に先行する新規受注は頭打ちの様相。

ドイツ輸出を地域別にみると、ユーロ域外向けは持ち直しが続く一方、財政赤字問題を抱える南欧向けを中心にユーロ域内向けは低迷が持続しており、楽観できず。企業の設備投資に対する慎重スタンスも続いており、建設工事出来高は減少傾向が持続。

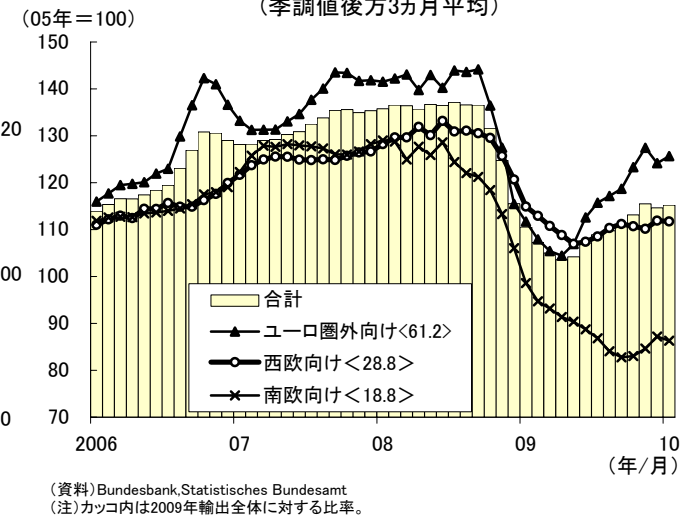
<家計部門>

2010年3月のユーロ圏失業率は10.0%と、1998年8月以来の高水準となった前月から横ばいで推移。雇用悪化が一段と深刻化すれば、所得のさらなる伸び鈍化も避けられず、個人消費は一段と冷え込む公算。

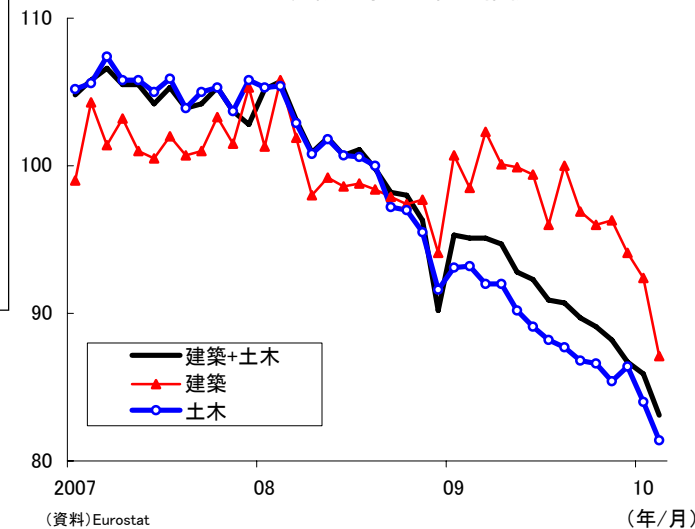
ユーロ圏鉱工業生産指数と新規受注指数の推移



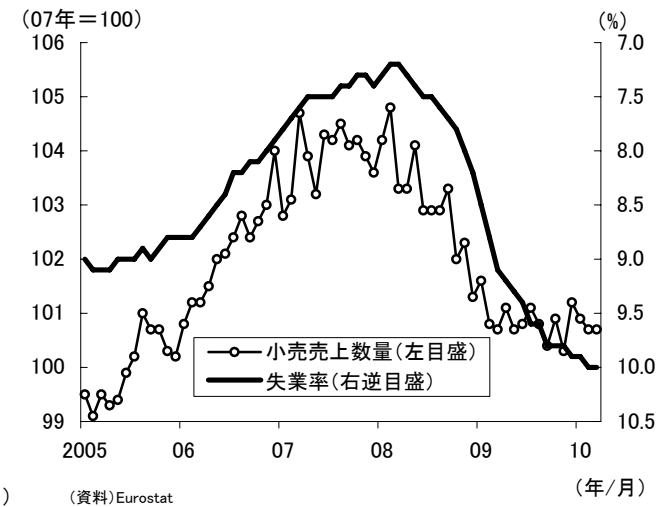
ドイツの地域別輸出の推移
(季調値後方3ヵ月平均)



ユーロ圏建設工事出来高の推移



ユーロ圏失業率と小売売上数量の推移



ギリシャ問題：5月19日を大量償還を乗り切れても問題は継続。

3月末のEU・IMFによるギリシャ支援合意後も、信用不安は継続。ギリシャ政府は4月23日、EU・IMFに資金支援を要請し、EU・IMFは向こう3年間で1,100億ユーロの融資実施で合意したものの、各国議会の動向次第では5月19日の85億ユーロの大量償還を無事に乗り切れるかは依然不透明。一方、支援策実施により借換に成功したとしても、問題の一時的な先送りに過ぎない公算大。ギリシャ政府のGDP成長率の見通しの甘さなどを勘案すると、財政赤字対GDP比率や債務残高GDP比率は政府の計画通り収束しない恐れがあり、今後は償還期限延長や元本カットなどの債務再編交渉も視野に。また、混乱は、ギリシャと同様に財政赤字比率が高いポルトガル・スペインへ波及し始めており、問題は一段と深刻の度を増しつつある。

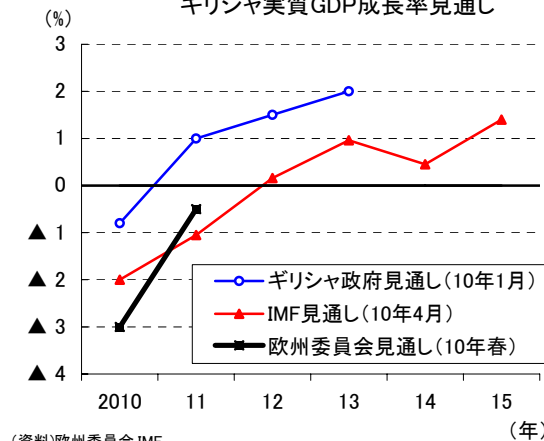
最近のギリシャを巡る動き

3/3	ギリシャ政府、名目GDP2%相当の財政赤字削減の追加策を発表。
26	EU首脳会議、IMFとユーロ加盟国によるギリシャ支援を合意。
29	ギリシャ政府、ユーロ建て7年物国債を50億ユーロ起債。
4/7	ギリシャ財務省、2009年財政赤字対GDP比見通しを12.9%に上方修正。
8	ギリシャ財務省、2010年1～3月期の財政赤字が前年同期比40%縮小したと公表。ECB、来年以降の公開市場操作における国債の受け入れ格付け基準維持を確認。
9	フィッチ、ギリシャ長期発行体デフォルト格付け(IDR)を「BBB-」に引き下げ。
11	EU・IMF緊急電話会議。総額450億ユーロの融資を行うことで合意。
19	ギリシャで予定されていた、EU・IMFとの会議がアイスランド火山噴火の影響で延期。
22	欧州委員会、2009年のギリシャの財政赤字対GDP比率を13.6%に上方修正。ムーディーズ、ギリシャ国債の格付けを「A3」に1段階引き下げ。
23	ギリシャ政府、EU・IMFに資金支援を要請。
26	S&P、ギリシャ長期債を「BB+」に3段階引き下げ。ポルトガル長期信用格付けは「A-」に2段階引き下げ。
28	S&P、スペインの長期国債を「AA」に1段階引き下げ。
5/2	ユーロ圏緊急財務相会合、ギリシャに対し3年間で1,100億ユーロの協調融資をIMFと実施することで合意。
3	ECB、短期資金を融資する際の担保最低基準をギリシャ国債に当面適用しないと発表。
6	ECB定例理事会。
9	ドイツ地方選挙。
10	EU緊急首脳会議
中旬	IMF、ギリシャの財政再建計画策定。
19	ギリシャ、85億ユーロの大量償還。

(資料) Bloomberg, L.P

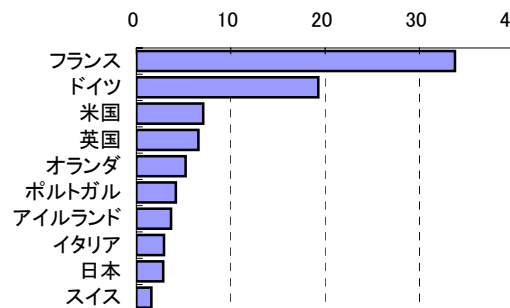
(今後の予定)

ギリシャ実質GDP成長率見通し



(資料) 欧州委員会, IMF

ギリシャ国外銀行のギリシャ国債保有額の試算



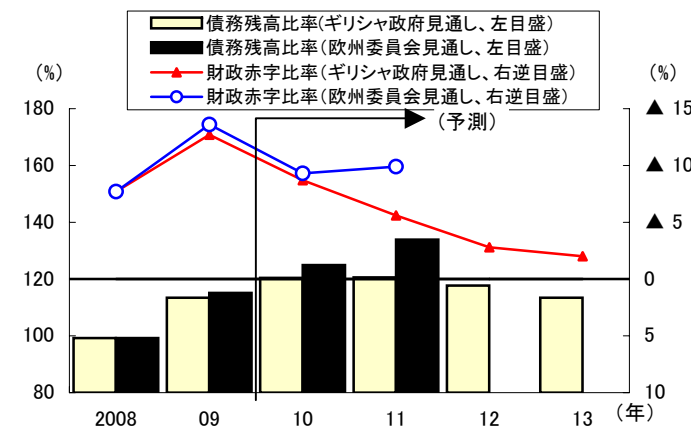
(資料) Bloomberg, BIS, ギリシャ公債管理庁をもとに日本総研作成。

(注) 保有額は以下の式で試算。

* 各国保有額 = ギリシャ国債発行総額 (2,958億ユーロ) × 国外保有比率 (05～09年平均: 0.71)

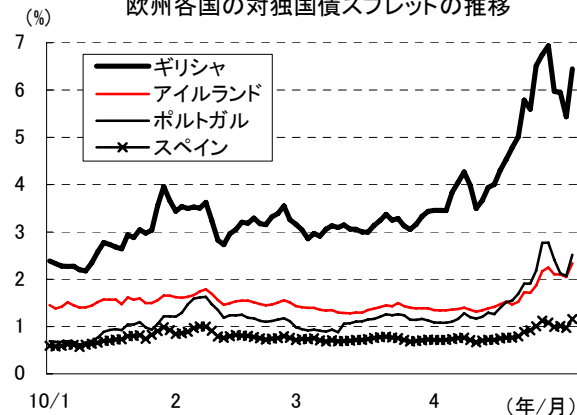
× 銀行保有比率 (05～09年平均: 0.41) × 各国銀行のギリシャ向け貸出し比率。(資料) Bloomberg

ギリシャ財政赤字・債務残高対GDP比率の推移



(資料) 欧州委員会

欧州各国の対独国債スプレッドの推移



(株) 日本総合研究所 海外経済展望 2010年5月

英国経済：実質GDPは2四半期連続でプラスも、回復力は脆弱

2010年1～3月期の英国実質GDPは前期比+0.2%と、2四半期連続のプラス。もっとも、順調な景気回復が続くとみるのは早計。

<企業部門>

業種別GDPの推移をみると、輸出増加を受け、製造業は09年央以降の改善傾向が持続。非製造業は金融業などで持ち直しが続いているものの、年明け以降、ホテル・レストランなどが悪化に転換。アイスランドの火山噴火に伴う欧州各国の飛行禁止措置の影響により、4～6月期も物流・観光などの経済活動は悪化が継続する恐れ。

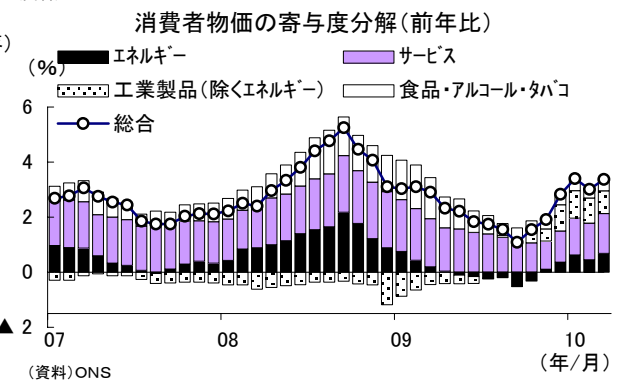
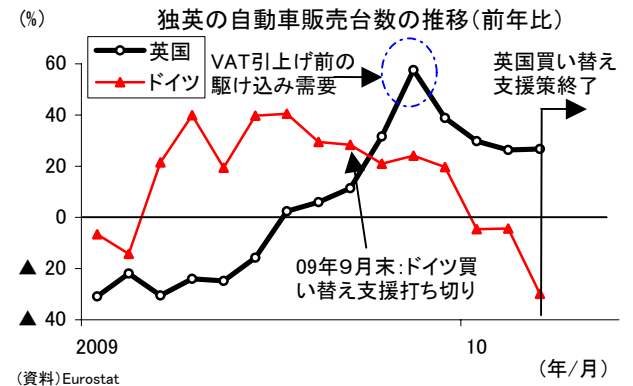
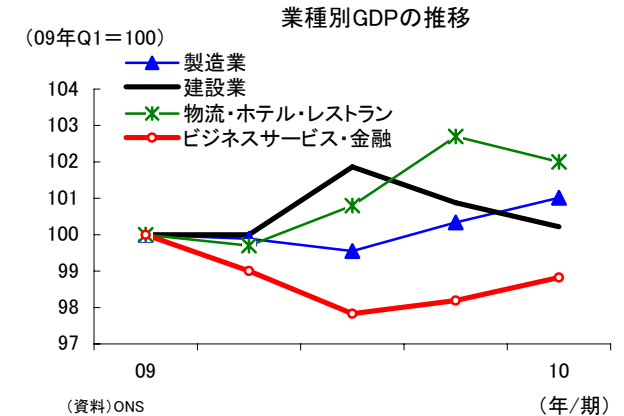
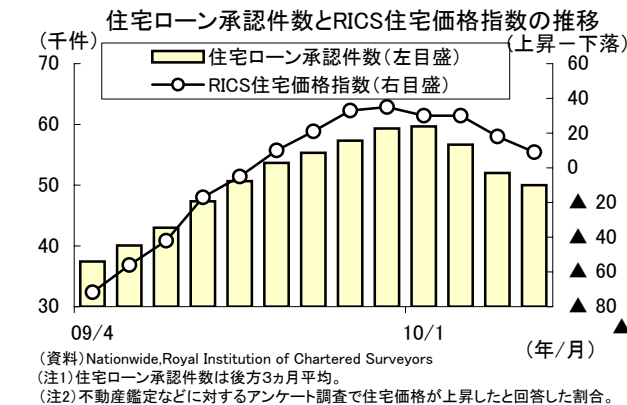
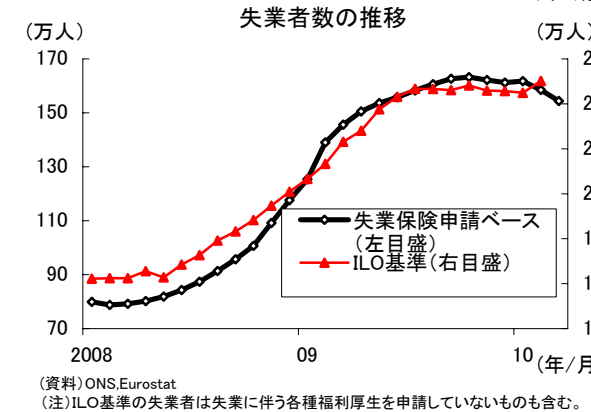
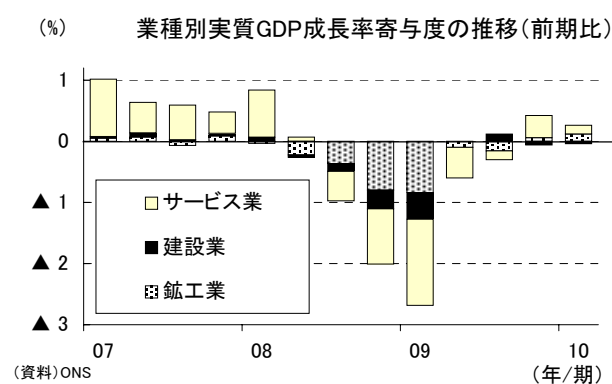
<家計部門>

失業保険申請ベースの失業者数は2ヵ月連続の減少となったものの、より幅広く失業を捉えるILO基準の失業者数は依然として増加傾向。雇用環境は悪化が続いている公算大。

3月の自動車販売は前年比+26.6%と、買い替え支援策を背景に高い伸び。もっとも、支援策は3月末で終了したため、今後は大幅な反動減が懸念される状況。

昨年春以降続いてきた住宅市場の改善傾向にも頭打ち感。印紙税免除制度を打ち切った年明け以降、住宅ローン承認件数は減少傾向にあり、住宅価格の先行指標であるRICS住宅価格指数は8ヵ月ぶりの水準に低下。

3月の消費者物価指数は前年比+3.4%（2月：同+3.0%）と、前月からの上昇ペースが加速。エネルギー価格上昇、ポンド安に伴う輸入物価の上昇が背景。



(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年5月

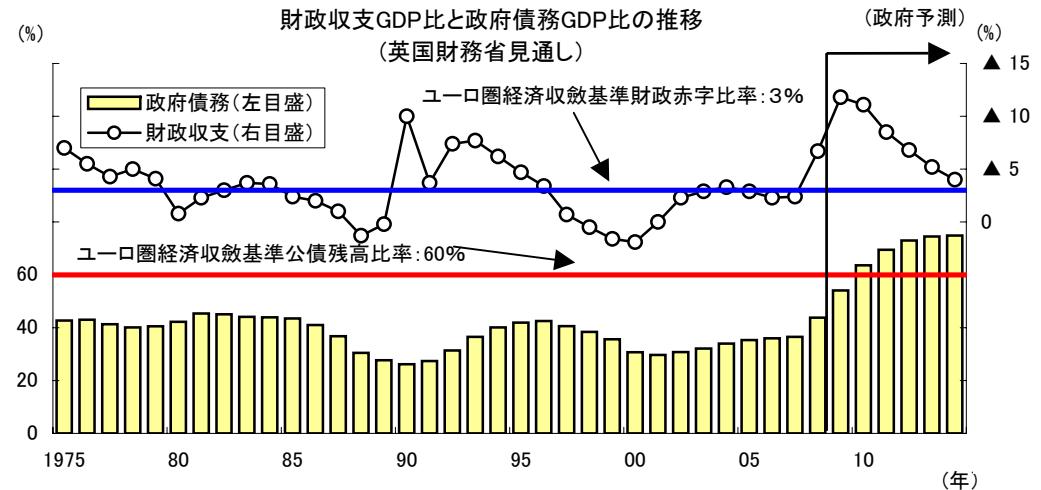
英国総選挙

5月6日に実施される総選挙では、景気対策に大きな違いがみられないなか、2007年以降大幅に悪化した財政の再建手法が焦点に。「景気回復を優先し、歳出削減よりも増税を重視する労働党」と「増税よりも歳出削減を目指す保守党」といった違いが見られるものの、景気低迷下、各政党とも大幅な増税・歳出削減には踏み込めていない状況。一方、財政制約から有効な景気対策も打ち出せず、景気回復・財政再建のどちらも達成できない恐れ。世論調査を踏まえると、与党・野党ともに単独過半数に至らず、政治の多極化により、景気・財政の先行きに対する不透明感が一段と強まる恐れ。

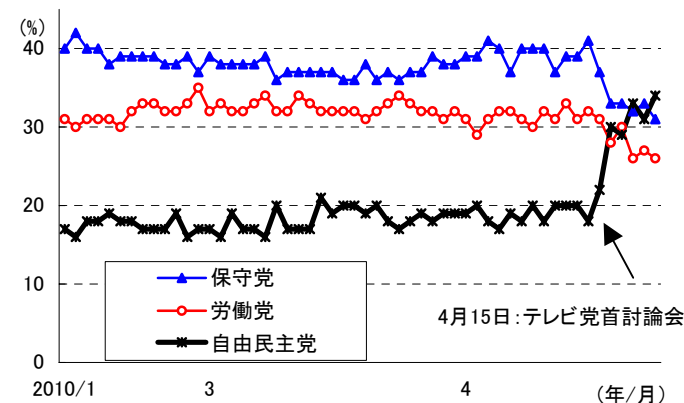
主要政党のマニフェスト概要

	与党	野党	
	労働党 (ブラウン党首)	保守党 (キャメロン党首)	自由民主党 (クレッグ党首)
財政再建	- 景気回復を優先し、主な削減策は来年以降実施 - 健康保険料の引き上げ - 年収15万ポンド以上の高所得者の所得税引き上げ	- 選挙後50日以内に緊急予算編成、2010年度に60億ポンドの歳出削減 - 健康保険料、給与税据え置き	- 景気回復を優先し、主な削減策は来年以降実施 - 公務員の年間給与上昇額を400ポンドまでに制限 - 各種税額控除額の削減 - Child Trust Fundsの廃止
金融監督	- 金融サービス機構(FSA)の権限強化 - 他国と協調して金融機関への特別税を導入 - 銀行のliving willの義務化	- FSAからBOEへ権限を移管 - 英国単独でも特別税を導入 - リテール銀行の大規模な自己勘定取引禁止	- 投資銀行と商業銀行を分離 - 投資銀行のボーナス規制
景気対策・その他	2015年までに環境分野で40万人の雇用創出 - 海外からの英企業買収時に必要な株主比率引き上げ - 最低賃金引き上げ - 初回住宅購入者の印紙税課税下限の一時引き上げ	- 法人税引き下げ - EU外からの経済的移民受け入れ者数上限設定 - 経済的移民受け入れ制限 - 最低賃金維持 - 初回住宅購入者の印紙税課税下限の恒久引き上げ	- 環境分野で10万人の雇用創出 - エクイティ・モーゲージ利用促進 - 省エネ住宅設備購入に対する助成

(資料)各党マニフェスト、Bloomberg.L.P



政党別支持率の推移



(資料)UK polling report

4月15日のテレビ党首討論後、自由民主党の支持率が急伸。2回目の討論会後も高い支持率が続いており、3つどもえの展開となる見込み。

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年5月

欧州経済見通し：景気対策効果が剥落するなか、再び停滞感が強まる見通し。

ユーロ圏景気は、①雇用情勢の悪化を背景とする個人消費低迷、②内需の落ち込みによる設備投資の減少などが、景気の下押し圧力として作用し続けるため、持続的な回復は期待薄。こうした状況下、①景気対策効果が剥落すること、②ギリシャなど南欧諸国での大幅な財政赤字削減、などを背景に、成長率は再びマイナス基調に逆戻りする可能性大。

インフレ率は、製品・労働需給の大幅な緩和を背景にコアベースの伸び鈍化が続くため、エネルギー価格反発の影響が薄らぐ10年末にかけて総合ベースでもゼロ%台まで伸びが鈍化していく見通し。

英国景気は、①家計のバランスシート調整・雇用悪化を背景とした個人消費の低迷、②主力産業である金融業の低迷、③内需の落ち込みによる設備投資の減少、④景気対策効果の剥落が引き続き足枷。こうしたなか、景気対策効果が剥落する4～6月期は再びマイナス成長となる見通し。

インフレ率は、減税終了やポンド安、原油価格の上昇を受け、年初に小幅強含むものの、景気悪化が続くなか、再び伸び鈍化傾向となる見込み。

<欧州各国経済・物価見通し>

(前年比、実質GDPの四半期は季節調整済前期比年率)

		2009年				2010年					2011年
		4～6	7～9	10～12	(実績)	1～3	4～6	7～9	10～12	(予測)	1～3
ユーロ圏	実質GDP	▲ 0.5	1.6	0.2	▲ 4.0	0.0	▲ 0.3	▲ 0.1	0.2	0.2	0.5
	消費者物価指数	0.2	▲ 0.4	0.4	0.3	1.1	1.2	0.7	0.3	0.8	0.3
	ドイツ										
	実質GDP	1.8	2.9	0.0	▲ 4.9	0.3	▲ 0.3	▲ 0.2	0.3	0.5	0.6
フランス	消費者物価指数	0.3	▲ 0.4	0.3	0.2	0.8	0.7	0.1	0.2	0.4	0.2
	実質GDP	1.1	0.9	2.4	▲ 2.2	1.2	▲ 0.1	▲ 0.2	0.1	0.9	0.3
	消費者物価指数	▲ 0.2	▲ 0.5	0.4	0.1	1.5	1.2	0.6	0.2	0.9	0.2
	英国										
	実質GDP	▲ 2.7	▲ 1.1	1.8	▲ 4.9	0.8	▲ 0.3	0.2	0.3	0.2	0.5
	消費者物価指数	2.1	1.5	2.1	2.2	3.0	2.5	2.0	2.0	2.4	1.8

予測

(資料)Eurostat, 各国統計局

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年5月

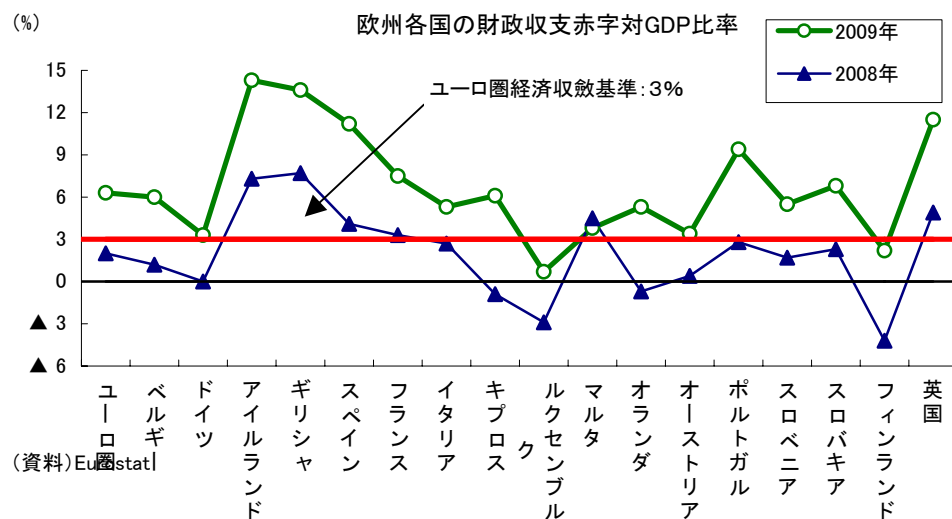
欧州金利見通し：財政収支の悪化により、長期金利が上昇する懸念。

ECBは、緊急措置としての流動性供給は、段階的に解除していくものの、現行の政策金利水準は当面継続する見通し。

独10年国債利回りは、景気低迷やデフレ懸念が金利低下に作用するものの、税収減に伴う財政赤字拡大を背景に、徐々に上昇圧力が強まる見通し。

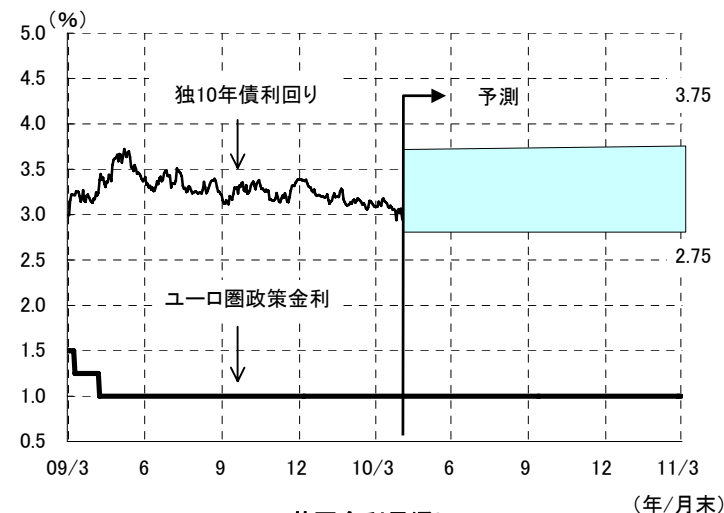
BOEは、英国景気の低迷が持続していることから、現行の政策金利水準を当面継続する見通し。

英10年債利回りは、景気低迷が金利低下に作用するものの、財政の大幅な悪化が続くなか、徐々に上昇圧力が強まる見通し。

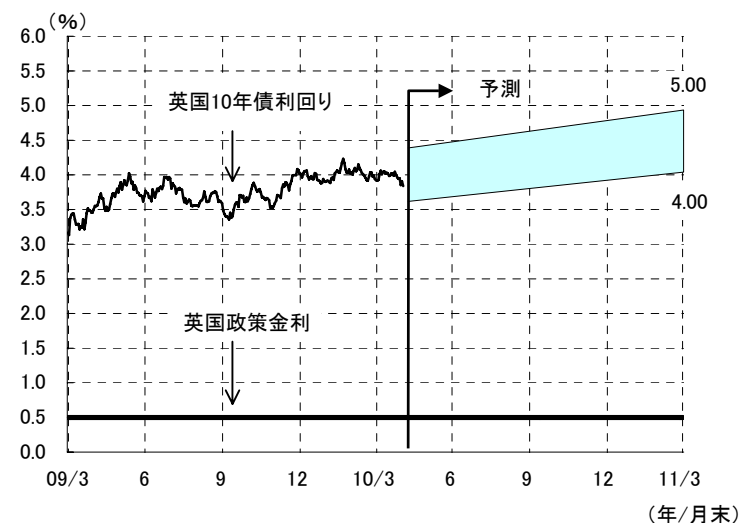


EU統計局は、4月22日に2009年の欧州各国の財政赤字対名目GDP比率を公表。ユーロ圏は6.3%と経済収斂基準（同3%）を大きく上回る水準。景気回復と財政再建の両立を迫られている状況。

ユーロ圏金利見通し



英国金利見通し



(資料) Bloomberg L.P.

(参考) 原油価格を巡る動き

< 4月の原油市況 >

4月のWTI先物は、米国の景気回復への期待が高まるなか、上旬にかけて上昇。中旬以降は、①南欧諸国の財政悪化問題を背景とする対ユーロのドル高、②金融取引規制強化への警戒感、③米国原油在庫量の増加、④アイスランド火山噴火に伴う航空燃料需要の減少観測、などを背景に頭打ち。

< 原油需給動向 >

4月の米国の原油在庫量は原油輸入量拡大を背景に大幅に増加。各国で景気の持ち直しが続くなか、IMFは4月の景気見通しで2010年の世界経済の成長率を+4.2%に上方修正、IEAも2010年の原油需要予測を更に上方修正。

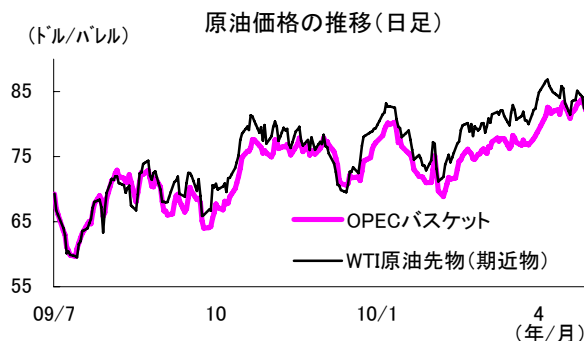
< 投機筋・投機資金の動向 >

ファンド筋の買いポジションは、4月も引き続き高水準。もっとも、米国商品先物取引委員会(CFTC)による持高制限強化への警戒感などから、持続的な資金流入には至らない公算大。

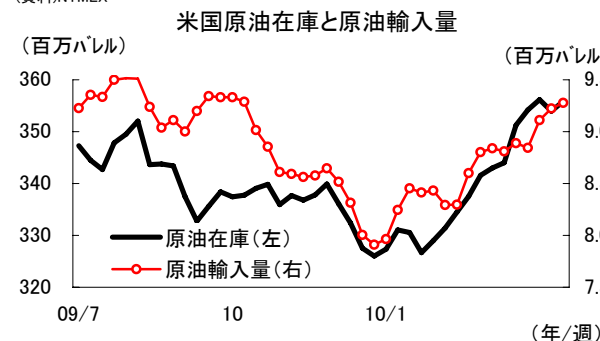
< 原油価格見通し >

WTI先物は、中国をはじめとする新興国での需要増加を受け、当面強含みで推移する見通し。

もっとも、①欧米をはじめとする先進国の景気低迷が続く見通しであること、②持続的な株高が見込み薄なもとで投資マネーのリスク許容度の改善余地は限定的とみられることから、上昇余地は限られる見込み。

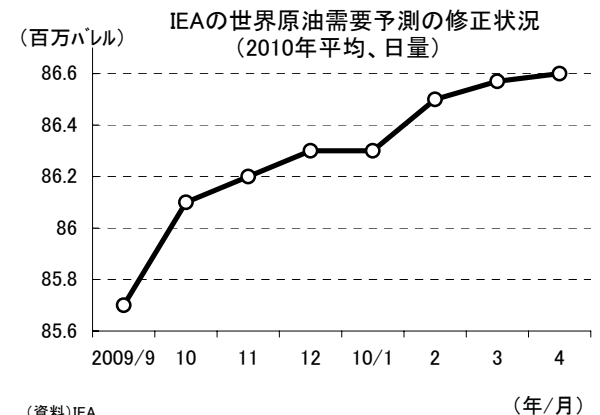


(資料)NYMEX

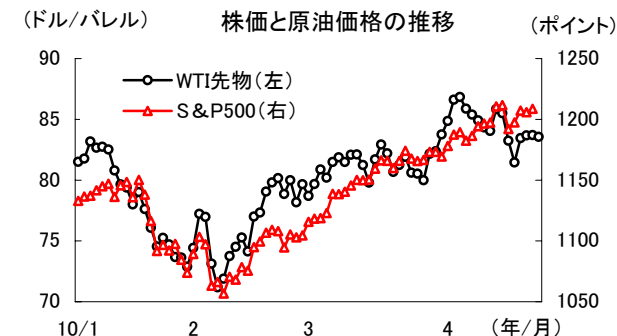


(資料)米エネルギー省

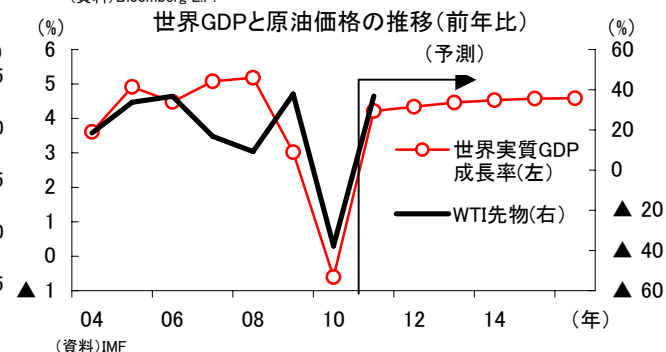
(注)原油輸入量は後方4週平均。



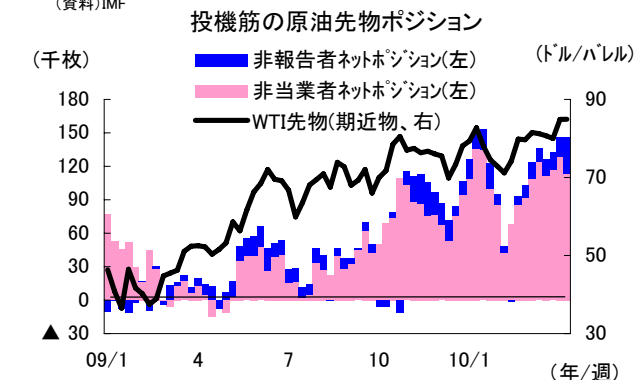
(資料)IEA



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)IMF



(資料)Bloomberg L.P., CFTC

(注1)建玉単位の「1枚」は「1000バレル」。

(注2)「非当業者」とは、「当業者」(所謂「実需筋」)に分類されない「ファンド」が主体。「非報告者」は持ち高報告義務を課されていない「一般投機筋」。

(株)日本総合研究所 海外経済展望 2010年5月

内外市場動向（2010年4月）

	ドル金利						円金利						ML金利		為替相場						株式相場			石油	金	CRB				
	Fed Fund O/N		1-0- ドル	1-0- \$ 先物	10年 国債	30年 国債	T-Bond 先物	無担 コール	CD 3M	1-0- ¥ 3M	1-0- ¥ 先物	円・円 スワップ 5 Y	10年 国債	円債 先物	1-0- ML	10年 国債	円/ドル 東京	対ドル(NY 終値)				対円(NY 終値)			日経平均 225種	NY ダウ 工業株	NASDAQ	石油 (WTI) 先物	金 (COMEX) 先物	CRB 商品 指数
	終値	実効	3ヵ月	価格	金利	金利	価格	O/N			価格		金利	価格	3ヵ月	金利	17:00	円	EUR	SFr	STG	EUR	SFr	STG	(円)	(ドル)	(ドル)	(\$/B)	(\$/TO)	
2010年			(Dec)				(Jun)				(Sep)			(Jun)													(May)	(Jun)		
3/29	0.17	0.16	0.40	99.13	3.86	4.77	115.16	0.103	0.34	0.44	99.62	0.76	1.40	138.14	0.58	3.13	92.64	92.47	1.3482	1.0624	1.4987	124.67	87.04	138.57	10986.47	10895.86	2404.36	82.17	1110.3	272.83
30	0.15	0.16	0.40	99.13	3.86	4.75	115.21	0.100	0.34	0.44	99.62	0.74	1.39	138.24	0.58	3.11	92.53	92.76	1.3413	1.0666	1.5069	124.44	86.99	139.80	11097.14	10907.42	2410.69	82.37	1105.7	273.72
31	0.02	0.09	0.40	99.17	3.83	4.71	116.04	0.082	0.34	0.43	99.62	0.75	1.40	138.22	0.58	3.09	93.27	93.46	1.3509	1.0540	1.5183	126.26	88.65	141.90	11089.94	10856.63	2397.96	83.76	1114.5	273.34
4/1	0.18	0.17	0.40	99.16	3.87	4.73	115.29	0.090	0.34	0.43	99.62	0.73	1.36	138.69	0.58	3.09	93.61	93.82	1.3589	1.0541	1.5291	127.50	89.01	143.48	11244.40	10927.07	2402.58	84.87	1126.1	276.43
2	0.20	0.20	0.40	99.11	3.94	4.81	114.28	0.094	0.34	0.43	99.62	0.73	1.36	138.70	close	3.09	93.94	94.61	1.3504	1.0608	1.5209	127.76	89.17	143.87	11286.09	close	close	close	close	close
3																														
4																														
5	0.20	0.20	0.40	99.05	3.99	4.84	114.12	0.094	0.33	0.42	99.62	0.75	1.38	138.45	close	3.09	94.55	94.37	1.3487	1.0622	1.5296	127.25	88.85	144.35	11339.30	10973.55	2429.53	86.62	1133.8	279.51
6	0.20	0.20	0.40	99.12	3.95	4.83	114.13	0.093	0.33	0.42	99.63	0.76	1.40	138.23	0.58	3.14	93.85	93.79	1.3399	1.0689	1.5266	125.67	87.75	143.18	11282.32	10969.99	2436.81	86.84	1136.0	278.52
7	0.20	0.19	0.40	99.20	3.85	4.74	115.22	0.091	0.33	0.41	99.64	0.76	1.41	138.09	0.58	3.12	93.86	93.35	1.3343	1.0739	1.5242	124.56	86.91	142.28	11292.83	10897.52	2431.16	85.99	1153.0	277.59
8	0.20	0.19	0.40	99.20	3.89	4.75	115.13	0.093	0.33	0.41	99.64	0.75	1.38	138.32	0.58	3.10	93.11	93.38	1.3360	1.0730	1.5279	124.75	87.03	142.68	11168.20	10927.07	2436.81	85.39	1152.9	275.25
9	0.20	0.19	0.40	99.19	3.88	4.74	115.21	0.097	0.33	0.41	99.64	0.75	1.39	138.40	0.58	3.17	93.49	93.18	1.3499	1.0658	1.5371	125.78	87.42	143.25	11204.34	10997.35	2454.05	84.92	1161.9	276.13
10																														
11																														
12	0.21	0.19	0.40	99.22	3.84	4.70	116.08	0.094	0.33	0.41	99.64	0.75	1.40	138.23	0.58	3.18	93.45	93.24	1.3592	1.0592	1.5369	126.74	88.03	143.30	11251.90	11005.97	2457.87	84.34	1162.2	276.20
13	0.21	0.20	0.40	99.21	3.82	4.68	116.20	0.094	0.32	0.41	99.64	0.74	1.38	138.60	0.58	3.15	93.40	93.20	1.3614	1.0537	1.5382	126.88	88.45	143.36	11161.23	11019.42	2465.99	84.05	1153.4	277.35
14	0.21	0.20	0.40	99.21	3.86	4.73	115.30	0.089	0.32	0.41	99.64	0.73	1.37	138.73	0.58	3.14	93.39	93.23	1.3653	1.0519	1.5466	127.29	88.64	144.20	11204.90	11123.11	2504.86	85.84	1159.6	279.96
15	0.23	0.22	0.40	99.24	3.83	4.73	116.01	0.089	0.32	0.40	99.64	0.73	1.36	138.71	0.58	3.13	93.16	93.02	1.3572	1.0565	1.5494	126.27	88.07	144.14	11273.79	11144.57	2515.69	85.51	1160.3	279.75
16	0.20	0.21	0.40	99.31	3.76	4.67	116.28	0.095	0.32	0.40	99.65	0.72	1.34	138.93	0.58	3.08	93.60	92.18	1.3502	1.0613	1.5362	124.44	86.83	141.61	11102.18	11018.66	2481.26	83.24	1136.9	276.29
17																														
18																														
19	0.21	0.20	0.40	99.29	3.80	4.69	116.16	0.092	0.32	0.40	99.65	0.70	1.32	139.29	0.58	3.08	91.78	92.40	1.3489	1.0630	1.5338	124.65	86.92	141.72	10908.77	11092.05	2480.11	81.45	1136.0	273.23
20	0.20	0.20	0.40	99.26	3.80	4.67	116.24	0.096	0.32	0.40	99.64	0.70	1.33	139.25	0.58	3.10	92.85	93.21	1.3435	1.0687	1.5358	125.23	87.23	143.15	10900.68	11117.06	2500.31	83.45	1139.2	275.78
21	0.20	0.20	0.40	99.25	3.74	4.62	117.19	0.094	0.32	0.40	99.64	0.71	1.33	139.13	0.58	3.08	93.24	93.18	1.3390	1.0705	1.5411	124.78	87.05	143.60	11090.05	11124.92	2504.61	83.68	1148.8	276.75
22	0.20	0.20	0.40	99.21	3.77	4.64	117.09	0.091	0.32	0.40	99.64	0.70	1.32	139.34	0.58	3.05	93.03	93.49	1.3293	1.0780	1.5377	124.28	86.72	143.76	10949.09	11134.29	2519.07	83.70	1142.9	277.12
23	0.21	0.20	0.40	99.16	3.81	4.66	116.28	0.092	0.32	0.40	99.64	0.70	1.32	139.36	0.59	3.06	93.37	93.97	1.3384	1.0729	1.5377	125.75	87.58	144.49	10914.46	11204.28	2530.15	85.12	1153.7	279.05
24																														
25																														
26	0.20	0.20	0.40	99.16	3.81	4.66	116.28	0.094	0.32	0.40	99.64	0.71	1.32	139.18	0.59	3.05	94.08	93.96	1.3382	1.0730	1.5457	125.74	87.56	145.26	11165.79	11205.03	2522.95	84.20	1154.0	278.38
27	0.20	0.20	0.40	99.18	3.69	4.58	118.14	0.092	0.32	0.40	99.64	0.70	1.31	139.40	0.59	2.94	93.79	93.26	1.3175	1.0879	1.5265	122.88	85.73	142.37	11212.66	10991.99	2471.47	82.44	1162.2	273.18
28	0.21	0.20	0.40	99.19	3.76	4.63	117.17	0.090	0.31	0.40	99.64	0.69	1.29	139.75	0.60	3.04	93.26	94.03	1.3220	1.0845	1.5209	124.31	86.71	143.01	10924.79	11045.27	2471.73	83.22	1171.8	274.51
29	0.20	0.19	0.40	99.21	3.72	4.59	118.07	close	close	close	close	close	close	close	0.60	3.06	close	94.04	1.3234	1.0838	1.5320	124.45	86.78	144.07	close	11167.32	2511.92	85.17	1168.8	275.29
30	0.20	0.20	0.40	99.18	3.65	4.52	119.02	0.096	0.31	0.40	99.64	0.69	1.28	139.68	0.61	3.02	94.18	93.85	1.3295	1.0777	1.5273	124.80	87.14	143.36	11057.40	11008.61	2461.19	86.15	1180.7	277.71
5/1																														
2																														
3	0.21	0.20	0.40	99.13	3.68	4.53	118.23	close	close	close	close	close	close	close	0.61	3.07	close	94.53	1.3195	1.0857	1.5247	124.73	87.07	144.15	close	11151.83	2498.74	86.19	1183.3	278.10
4	0.22	0.21	0.40	99.12	3.59	4.41	120.00	close	close	close	close	close	close	close	0.62	2.95	close	94.53	1.2988	1.1029	1.5144	122.78	85.72	143.17	close	10926.77	2424.25	82.74	1169.2	271.60
5	0.22		0.40	99.16	3.54	4.38	120.17	close	close	close</																				

内外市場データ（月中平均）

	短期金利		ユーロ円(TIBOR)		円・円スワップ			国債	プライムレート		為替相場		日経平均	米国市場				欧州市場	
	公定歩合 (%)	無担O/N (%)	3ヵ月 (%)	6ヵ月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$	¥/Eur	株価 (円)	F F O/N	1-03ヵ月	10年国債	N Y ダウ 工業株	1-03ヵ月	10年国債
06/9	0.40	0.261	0.43	0.50	0.77	1.27	1.84	1.67	1.625	2.30	117.01	149.11	15934.09	5.25	5.38	4.71	11533.60	3.34	3.76
06/10	0.40	0.254	0.44	0.52	0.85	1.37	1.92	1.76	1.625	2.35	118.66	149.66	16532.70	5.25	5.36	4.72	11963.12	3.50	3.80
06/11	0.40	0.257	0.47	0.56	0.91	1.36	1.87	1.69	1.625	2.30	117.35	151.13	16101.07	5.25	5.36	4.59	12185.15	3.60	3.73
06/12	0.40	0.255	0.53	0.60	0.92	1.34	1.77	1.63	1.625	2.35	117.30	154.92	16790.21	5.24	5.35	4.56	12377.62	3.60	3.73
07/1	0.40	0.267	0.55	0.61	0.91	1.37	1.84	1.70	1.625	2.40	120.58	156.56	17286.32	5.26	5.35	4.75	12512.89	3.75	4.03
07/2	0.75	0.357	0.57	0.63	0.91	1.36	1.84	1.70	1.625	2.30	120.45	157.60	17741.23	5.26	5.35	4.72	12631.48	3.82	4.05
07/3	0.75	0.509	0.67	0.70	0.93	1.31	1.76	1.61	1.875	2.20	117.28	155.29	17128.37	5.26	5.34	4.56	12268.53	3.89	3.95
07/4	0.75	0.511	0.65	0.70	0.97	1.37	1.82	1.67	1.875	2.25	118.83	160.36	17469.81	5.24	5.34	4.68	12754.80	3.98	4.16
07/5	0.75	0.521	0.65	0.72	1.04	1.41	1.84	1.67	1.875	2.25	120.73	163.19	17595.14	5.25	5.34	4.74	13407.76	4.07	4.29
07/6	0.75	0.507	0.69	0.77	1.19	1.66	2.08	1.88	1.875	2.45	122.62	164.48	17942.18	5.25	5.35	5.10	13480.21	4.15	4.58
07/7	0.75	0.499	0.75	0.83	1.21	1.66	2.10	1.88	1.875	2.55	121.59	166.68	17974.77	5.26	5.35	4.99	13677.89	4.22	4.52
07/8	0.75	0.485	0.80	0.87	1.11	1.43	1.87	1.66	1.875	2.55	116.72	158.98	16460.95	5.04	5.52	4.68	13239.71	4.55	4.30
07/9	0.75	0.510	0.84	0.90	1.08	1.36	1.79	1.60	1.875	2.25	115.02	159.64	16235.39	4.97	5.53	4.51	13557.69	4.74	4.24
07/10	0.75	0.506	0.84	0.91	1.10	1.37	1.83	1.65	1.875	2.45	115.74	164.74	16903.36	4.75	5.15	4.51	13901.28	4.68	4.29
07/11	0.75	0.500	0.85	0.91	1.02	1.27	1.71	1.51	1.875	2.20	111.21	163.28	15543.76	4.50	5.02	4.14	13200.58	4.64	4.10
07/12	0.75	0.497	0.86	0.91	0.97	1.24	1.70	1.53	1.875	2.30	112.34	163.50	15545.07	4.22	5.17	4.09	13406.99	4.85	4.24
08/1	0.75	0.502	0.85	0.89	0.83	1.09	1.60	1.42	1.875	2.10	107.66	158.14	13731.31	3.93	3.93	3.72	12538.12	4.48	4.05
08/2	0.75	0.504	0.85	0.88	0.89	0.96	1.64	1.44	1.875	2.15	107.16	158.18	13547.84	2.97	3.12	3.73	12419.57	4.36	3.96
08/3	0.75	0.511	0.86	0.89	0.92	1.08	1.51	1.30	1.875	2.10	100.79	156.28	12602.93	2.60	2.85	3.48	12193.88	4.60	3.81
08/4	0.75	0.506	0.84	0.88	0.98	1.16	1.59	1.41	1.875	2.10	102.49	161.53	13357.70	2.26	3.02	3.64	12656.63	4.78	4.05
08/5	0.75	0.505	0.84	0.88	1.18	1.47	1.87	1.67	1.875	2.40	104.14	162.05	13995.33	1.99	2.84	3.87	12812.48	4.86	4.20
08/6	0.75	0.509	0.84	0.89	1.30	1.62	1.99	1.75	1.875	2.45	106.90	166.23	14084.60	2.00	2.95	4.08	12056.67	4.94	4.55
08/7	0.75	0.503	0.85	0.90	1.18	1.44	1.82	1.60	1.875	2.40	106.81	168.35	13168.91	2.02	3.00	3.97	11322.38	4.96	4.50
08/8	0.75	0.504	0.85	0.89	1.01	1.26	1.66	1.45	1.875	2.25	109.28	163.75	12989.35	1.99	3.00	3.88	11530.75	4.96	4.22
08/9	0.75	0.495	0.85	0.90	1.05	1.31	1.69	1.48	1.875	2.30	106.75	153.25	12123.53	1.86	3.95	3.68	11114.08	5.02	4.10
08/10	0.50	0.487	0.88	0.91	1.02	1.27	1.55	1.50	1.875	2.35	100.33	133.49	9117.03	1.01	5.31	3.78	9176.71	5.11	3.90
08/11	0.50	0.301	0.82	0.86	0.89	1.13	1.48	1.46	1.675	2.40	96.81	123.25	8531.45	0.39	3.11	3.46	8614.55	4.23	3.57
08/12	0.30	0.211	0.86	0.88	0.85	1.02	1.32	1.31	1.675	2.40	91.28	122.79	8463.62	0.17	2.47	2.40	8595.56	3.29	3.06
09/1	0.30	0.120	0.73	0.78	0.75	0.94	1.26	1.25	1.475	2.25	90.41	119.68	8331.49	0.15	1.73	2.47	8396.20	2.45	3.09
09/2	0.30	0.111	0.71	0.77	0.72	0.89	1.19	1.29	1.475	2.25	92.50	118.33	7694.78	0.22	1.65	2.85	7749.01	1.96	3.17
09/3	0.30	0.100	0.68	0.75	0.74	0.91	1.25	1.30	1.475	2.25	97.87	127.44	7764.58	0.18	1.62	2.80	7235.47	1.63	3.06
09/4	0.30	0.104	0.62	0.72	0.75	0.99	1.39	1.44	1.475	2.30	99.00	130.50	8767.96	0.15	1.49	2.90	7992.12	1.42	3.19
09/5	0.30	0.102	0.58	0.70	0.69	0.94	1.36	1.44	1.475	2.10	96.30	131.92	9304.43	0.17	1.23	3.30	8398.37	1.28	3.42
09/6	0.30	0.104	0.56	0.68	0.68	0.92	1.41	1.47	1.475	2.10	96.52	135.46	9810.31	0.21	1.07	3.70	8593.00	1.23	3.55
09/7	0.30	0.102	0.56	0.67	0.62	0.86	1.37	1.34	1.475	1.90	94.50	133.00	9691.12	0.16	0.91	3.53	8679.75	0.95	3.36
09/8	0.30	0.106	0.55	0.66	0.60	0.88	1.46	1.37	1.475	1.95	94.84	135.40	10430.35	0.16	0.69	3.57	9375.06	0.83	3.33
09/9	0.30	0.102	0.53	0.65	0.56	0.83	1.41	1.31	1.475	1.80	91.49	132.80	10302.87	0.15	0.53	3.39	9634.97	0.73	3.29
09/10	0.30	0.106	0.53	0.64	0.58	0.86	1.47	1.33	1.475	1.70	90.29	133.87	10066.24	0.12	0.49	3.36	9857.34	0.69	3.23
09/11	0.30	0.105	0.52	0.63	0.56	0.83	1.48	1.35	1.475	1.85	89.19	132.98	9640.99	0.12	0.45	3.38	10227.55	0.67	3.28
09/12	0.30	0.101	0.47	0.59	0.48	0.71	1.39	1.26	1.475	1.65	89.55	130.95	10169.01	0.12	0.45	3.59	10433.44	0.67	3.23
10/1	0.30	0.096	0.45	0.57	0.48	0.72	1.43	1.33	1.475	1.65	91.16	130.30	10661.62	0.12	0.43	3.71	10471.24	0.63	3.29
10/2	0.30	0.101	0.44	0.56	0.47	0.72	1.41	1.33	1.475	1.65	90.28	123.58	10175.13	0.13	0.40	3.68	10214.51	0.60	3.19
10/3	0.30	0.097	0.44	0.55	0.46	0.71	1.40	1.34	1.475	1.60	90.52	122.96	10671.49	0.16	0.40	3.71	10677.52	0.59	3.13
10/4	0.30	0.093	0.41	0.52	0.47	0.72	1.40	1.35	1.475	1.65	93.38	125.57	11139.77	0.20	0.40	3.82	11052.15	0.59	3.09

(注) 公定歩合とプライムレートは月末値。